

## (8) 山口県みほり学園

### ◆総合環境療法\*<sup>1</sup>の充実

虐待を受けた児童や家庭等において不適応行動\*<sup>2</sup>を示す児童の心の不安と混乱を取り除き、社会適応能力を高めていけるよう、「施設全体を治療の場」とする「総合環境療法」の更なる充実を図ります。

#### <令和5年度末までに目指すべき方向>

- 高度な心理的ケアや専門性の高い訓練の実施により、「総合環境療法」を更に充実させます。
- 充実した「総合環境療法」の枠組みの中で、児童に社会に適応できる力を身に付けさせることにより、家族再統合\*<sup>3</sup>を目指します。

#### <<令和5年度の具体的な取組>>

取組目標	取組の内容
心の傷に対する有効な支援方法の習得・実行	・毎月の園内研修で「トラウマケア」についての研修会を継続実施し、専門知識の向上を図ります。 ・心理治療についての専門的な研修会に積極的に参加し、その内容を職員会議等で復命し、資料を配布するなどして周知します。
訓練手順の徹底・効果検証	・前年度の課題を改善するとともに、訓練の結果を中間、年度末の2回評価し、より効果的な実践方法を検証していきます。

#### 【数値目標】

項目	目標数値(累計)
	令和5年度
家族再統合が実現した児童数	10人(1人)

※ ( )内は、令和5年度の児童数の再掲

\*1 総合環境療法：施設全体を治療の場として、心理、医療、福祉、教育等の専門職員が施設内の全ての活動の中で連携して行う治療法

\*2 不適応行動：不登校やひきこもりなどの社会生活に適応できない非社会的行動と非行や犯罪など法律や社会規範から逸脱した反社会的行動のこと

\*3 家族再統合：虐待等により離れて暮らしている子どもと保護者が、児童相談所や関係機関からの援助により、安全・安心な状態でお互いを受け入れ、定期的に面談したり、再び家庭で一緒に生活できるようになること